

インターバンクの声（2016 年 6 月 3 日）

石油輸出国機構（OPEC）総会の結果によっては円高・ドル安の流れも止まるのではないかと、市場には多少なりとも期待があった。しかし、最近の原油価格に底打ち感が出始めていることが影響したためか、結局、生産目標の設定は再び見送られ、原油先物価格が一時、大きく値下がりしてしまい、そのためドル円も108円台半ばまでドル安が進んだ。日本勢にとっては注目度が低かった昨夜の欧州中央銀行（ECB）理事会は、予想通り目新しい内容は示されなかった。それでもユーロは小幅な乱高下を見せた後、物価見通しの引き上げ幅が小さかったことで1.11ドル台中盤まで値を下げた。OPEC総会の結果が期待はずれに終わり、今週の注目イベントで残ったのは、今夜の米雇用統計だけになってしまった。過去数週の新規失業保険申請件数や昨夜のADP雇用統計の結果を見る限り就業者数の大幅減少は考えにくい、同時に大幅な増加も期待できず、15日の連邦公開市場委員会（FOMC）での利上げが決定的になるようなこともなさそうだ。とにかく今晚は米国の利上げの可能性が消えるような結果だけは見たくない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。